

# シスプラチン + 放射線療法を受けられる方へ

●シスプラチン+ 放射線療法は子宮頸癌に対する治療法です。

## 投与スケジュール

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	… (日)
シスプラチン	↑							↑						
放射線照射	↑	↑	↑	↑	↑			↑	↑	↑	↑	↑		

シスプラチンは週に1回、計5~6回点滴します。  
放射線は週に5日照射します。

## 主な副作用と発現時期

次のような症状があらわれたら、医療スタッフにお知らせください。

※ 個人差があるので、その他の副作用についても十分注意して下さい。

治療当日～数日	●吐き気・嘔吐	●食欲不振	●腎障害
治療数日～数週間	●吐き気・嘔吐 ●白血球減少	●疲労感 ●血小板減少	●下痢
治療数週間～数ヶ月	●しびれ	●貧血	●皮膚炎 ●血尿・血便

### ◇吐き気、嘔吐、食欲不振

消化の良いものや食べたいものを少量ずつ食べたりするようにしましょう。また、スポーツ飲料などで、十分な水分摂取を心がけましょう。

### ◇疲労感

「疲れる」「だるい」「身体が重い」といった症状が現れることがあります。無理せず体を十分に休め、体を冷やさないようにして、体力を保つようにしましょう。

### ◇しびれ

手や足の指がしびれたり、感覚が鈍くなったりすることがあります。転ばないように注意し、熱いものや刃物などの危険なものを取り扱うときにはけがをしないように十分注意しましょう。

### ◇腎障害:頭痛、尿量の変化、むくみ、ふるえ、痙攣

腎障害は一度起こると重症であることが多く、治療を続けられなくなることがあります。投与後数日は水分をできるだけ多く取り、尿量を増やすことによって予防できます。

頭痛、尿量の変化、むくみなどの症状が出た場合は医療スタッフにご相談ください。

### ◇白血球減少:発熱、寒気、咳、のどの痛み、頭痛

38℃以上の発熱がみられた場合はすぐに受診してください。

外出時はマスクを着用し、人混みを避けましょう。手洗い、うがいをこまめにしましょう。

### ◇放射線性腸炎(下痢)

放射線照射により、腸管粘膜が障害されることがあります。水分をこまめに摂り、消化の良いものを少しずつ摂りましょう。1日4回以上の排便や水様便がみられた場合は、すぐに受診してください。

### ◇放射線皮膚炎

放射線照射部位周辺に赤い斑点ができたり、腫れたり、ただれたりします。保湿剤を使って皮膚の乾燥を防ぎましょう。

直射日光を避けたり日焼け止めを使ったりして皮膚への刺激を避けましょう。体を洗う際にはぬるま湯で刺激の少ない石鹸を使いましょう。しめつけの強い服装、下着は避けましょう。

皮膚の痒みや痛みを感じた場合は報告してください。